

〈指標種リスト〉

陸域

樹林指標種	
植物	アカガシ、ウラシマソウ、エビネ、オオハナワラビ、カマツカ、コクラシ、セントウソウ、ダイコンソウ、ツクバトリカブト、トウゲシバ、ヒトリシズカ、マルバスマシ、ヤマコウバシ、ヤマユリ
鳥類	アオゲラ、アオバズク、ウグイス、エナガ、オオタカ、カケス、サシバ、シロハラ、ノスリ、フクロウ、ヤマガラ、ルリビタキ
両生・は虫類	[両生類] アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル [は虫類] ニホンマムシ、ニホンヤモリ
昆虫類	ウスタバガ、ウラゴマダラシジミ、エゾカタビロオサムシ、クツワムシ、クロカナブン、コマダラウスバカゲロウ（幼虫）、ゴマダラチョウ、センノキカミキリ、トゲナナフシ、ニホントビナナフシ、ヒオドシチョウ、ヒメマイマイカブリ、ムネアカセンチコガネ、ヤマトタマムシ、ヨツズジハナカミキリ

草地指標種	
植物	アリノトウグサ、カナビキソウ、クサボケ、コウヤワラビ、ツリガネニンジン、ナンバンギセル、ノアザミ、ヒキヨモギ、ヒトツバハギ、フユノハナワラビ、ホタルブクロ、ワレモコウ
哺乳類	カヤネズミ
鳥類	コミミズク、セッカ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、ヒバリ、ホオジロ、モズ
両生・は虫類	[は虫類] アオダイショウ、シマヘビ、ヒガシニホントカゲ、ヤマカガシ
昆虫類	オナガササキリ、ギンイチモンジセセリ、キンヒバリ、クルマバタ、コバネササキリ、シブイロカヤキリ、ジャコウアゲハ、ジャノメチョウ、ショウリョウバッタモドキ、シロヘリツチカメムシ、スズムシ、ナキイナゴ、ヒガシキリギリス、ヒゲコガネ、マツムシ、マメハンミョウ

水辺指標種	
植物	イノモトソウ、オモダカ、カワデジャ、チゴザサ、チダケサシ、ニョイスミレ、ツリフネソウ、ボントクタデ、マコモ、ミゾコウジュ、ヤナギタデ、ヤノネグサ
鳥類	アオサギ、アマサギ、イカルチドリ、オオジュリン、オオヨシキリ、カイツブリ、カシラダカ、クイナ、ゴイサギ、コサギ、コチドリ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、チュウサギ、バン、ヒドリガモ、ホシハジロ、ミサゴ、ヨシゴイ
両生・は虫類	[両生類] トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエル [は虫類] ニホンイシガメ、ヒバカリ
昆虫類	オニヤンマ（幼虫）、カトリヤンマ、ケラ、コオナガミズスマシ、シオヤトンボ、シマアメンボ、タイコウチ、ネグロセンブリ、ヒメアカネ、ヘイケボタル、ミヤマアカネ、ミルヤンマ、ムスジイトトンボ、モノサシトンボ
魚類	アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、ホトケドジョウ

海岸指標種	
植物	イヌハギ、オカヒジキ、オニシバ、ケカモノハシ、コウボウシバ、コウボウムギ、ハマエンドウ、ハマニガナ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、ピロードテンツキ、マルバアカザ
鳥類	キョウジョシギ、ミユビシギ
昆虫類	オサムシモドキ、クロマメゾウムシ、シロスジコガネ、ハマベエンマムシ類、ルリエンマムシ

水域

主要河川指標種	
魚類	アブラハヤ、アユ、ウキゴリ、ウグイ、シマヨシノボリ、 <u>クロダハゼ</u> 、ドジョウ、ナマズ、ニゴイ、ニホンウナギ、ヌマチチブ
甲殻類	テナガエビ、ヌカエビ、ヒラテテナガエビ、ミゾレヌマエビ、モクスガニ

細流指標種	
魚類	アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、ホトケドジョウ
甲殻類	サワガニ、ヒラテテナガエビ、モクスガニ
貝類	カワニナ、マルタニシ

備考 1) 下線は、第4回調査で追加された種である。

- 第3回調査で指標種であったピンズイ（鳥類：海岸指標種）、クサガメ（は虫類：水辺指標種）、トウヨシノボリ（魚類：主要河川指標種）、タモロコ（魚類：主要河川指標種）、ヒメタニシ（貝類：細流指標種）は第4回調査で指標種から除外した。
- 第3回調査で海岸指標種であったハマカキラン（植物）は丘陵地～山地に分布するエゾスズランと同一種であることが判明し、指標種から除外した。
- 第3回調査で樹林指標種であったイノモトソウ（植物）及びツリフネソウ（植物）は、水辺指標種に、草地指標種であったマルバスマシ（植物）は樹林指標種にそれぞれ第4回調査で変更した。
- ミヤマアカネ（昆虫類）は第1回調査で指標種としていたが、記録が途絶えたため指標種外としていた。近年再び記録されるようになったため、第4回調査では指標種とした。
- 第3回調査で確認されているドジョウ（魚類）は、在来のドジョウ（在来系統）と外来のドジョウ（大陸系統）が区別されていない。第4回調査では、ドジョウ（大陸系統）の個体は外来種として除外した。